



1月



日本科学技術連盟 70周年
(ロゴ、記念史)

4月



賛助会員特典「月例講演会」開始

11月



2016年度デミング賞本賞受賞
大久保 尚武氏 (積水化学工業㈱ 相談役)

2017年

4月



Webジャーナル「クオリティマネジメント」と機関誌「日科技連ニュース」を統合し、機関誌「クオリティ・クラブ」創刊

10月



「品質経営懇話会」第1回会合、発足発表会（記者会見）
経団連会館（東京・大手町）

11月



2017年度デミング賞本賞受賞
中條 武志氏（中央大学 教授）

2018年

5月



第6000回記念QCサークル全国大会 (小集団改善活動)
(札幌コンベンションセンター)

9月



第10回 知識構造化シンポジウム開催

11月



2018年度デミング賞本賞受賞
大沼 邦彦氏 (日立オートモティブシステムズ(株) 取締役会議長)

2019年

9月



日本での開催は今回で8回目
ICQCC'2019（日本・東京）開催

9月



坂根 正弘氏（日本科学技術連盟 前会長／株小松製作所 顧問）
ANQ（Asian Network for Quality）の
Ishikawa-Kano Award Gold Medalを受賞

9月



ASQN（Asian Software Quality Network）
（日本・東京）開催

11月



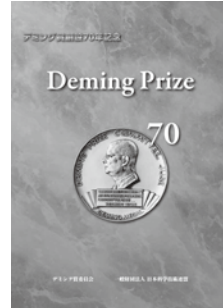
「令和大磯宣言」
109QCSにて（東京・大磯プリンスホテル）



2019年度デミング賞本賞受賞
永田 靖氏（早稲田大学 教授）



11月



デミング賞創設70周年記念史



狩野 紀昭
デミング賞本賞選考委員会委員長
(東京理科大学 名誉教授)
Dr. Noriaki KANO
Professor Emeritus,
Tokyo University of Science
Chair, the Deming Prize
for Individuals Selection Committee

ご挨拶 狩野 紀昭氏
(デミング賞本賞選考委員会委員長/
東京理科大学名誉教授)



記念講演
坂根 正弘氏 (小松製作所)



祝辞
藤原 清明氏 (日本経済団体連合会)
デミング賞創設70周年記念講演会 (東京・経団連会館)

11月



2020年度デミング賞本賞受賞
佐々木 眞一氏 (日科技連 理事長/トヨタ自動車(株) 元副社長)



COVID-19感染対策防止のため
会場内は受賞者、受賞関係者のみ
YouTube配信 (同時通訳)

2021年

1月



第50回全日本選抜QCサークル大会（小集団改善活動）
COVID-19感染拡大の影響により1月に延期
大会初の完全オンライン開催

10月



オンライン講演シリーズ「J-Channel」開始

11月



Keidanren
2021年度デミング賞本賞受賞
橋 広計氏
（情報・システム研究機構 理事／統計数理研究所 所長）



9月



第27回品質機能展開国際シンポジウム
(東京・オンライン/オンデマンド開催)

11月



クオリティフォーラム 2022 (品質経営総合大会)
第28回品質機能展開シンポジウム
同時オンライン開催

11月



2022年度デミング賞本賞受賞
棟近 雅彦氏 (早稲田大学 教授)



4月



日本クオリティ協議会（JAQ）設立
（品質5団体：日本品質管理学会、日本科学技術連盟、
日本規格協会、日本能率協会、品質工学会）
<https://jaq.gr.jp/>

10月



コロナ渦後、4年ぶりに再開
「QC サークル海外研修団」としてタイを訪問

10月



Indian Foundation for Quality Management (IFQM) と
相互協力のための覚書を締結（日科技連・西新宿本部）

11月



2023年度デミング賞本賞受賞
小原 好一氏（前田建設工業㈱ 顧問）

12月



「令和の大磯宣言2023」
116QCS（東京・大磯）にて発出



4月



日科技連は、Chartered Quality Institute (CQI) と MoU (基本合意) を締結

6月



第1回「事務・販売・サービス(含む医療・福祉)部門 グランドチャンピオン大会(小集団改善活動)」開催(事務・販売・サービス部門 全日本選抜大会から名称変更)

11月



2024年度デミング賞本賞受賞
小笠原 浩氏(㈱安川電機 代表取締役会長)

11月



2024年度デミング賞特別功労・実践賞新設
左から 新藤 久和氏(山梨大学名誉教授),
Dr. Prem Motwani(ジャワハルラール・ネルー大学 元教授),
光藤 義郎氏(日科技連 囑託)



11月



第2回失敗学フォーラム2025
(濱田氏、2025年11月にオンライン開催)

2月



失敗学フォーラム2024
(初の単独開催。COVID-19の影響により2月に開催された)

9月



品質国際会議 '2025-東京 (ICQ '2025-Tokyo)
東京・新宿のベルサール新宿グランドで開催

11月



11月



2025年度デミング賞本賞受賞
大橋 徹二氏 (㈱小松製作所 特別顧問)

目次

| | |
|--------------------|-------|
| ■ ご挨拶 | [1] |
| ■ 日科技連役員の変遷 | [3] |
| ■ 日科技連について | [4] |
| ■ 写真で綴る2016年～2025年 | [5] |

第1部 2016年～2025年のトピックス

| | |
|----------------------------|----|
| 「品質経営懇話会」の発足 | 2 |
| 「令和大磯宣言」の発令 | 4 |
| 国際QCサークル大会（日本・東京）の開催 | 6 |
| 品質国際会議2025（日本・東京）開催 | 8 |
| デミング賞創設70年記念 | 10 |
| 日科技連創立75周年記念 | 11 |
| マネジメントシステムの発展と展開 | 12 |
| サステナブルな経営への支援・推進 | 14 |
| 日本クオリティ協議会の設立 | 15 |
| 「SQiPソフトウェア品質保証部長の会」発足10周年 | 16 |
| 「次世代人材育成研究会（ISO→TQM研究会）」発足 | 17 |

第2部 新規・主要事業の動向

1 TQM・品質管理

| | |
|--|----|
| 1 「トヨタ流・自工程完結」シリーズセミナー | 20 |
| 2 監督者・リーダーのためのものづくり改善教室 | 20 |
| 3 組織力向上のためのリーダーシップ・マネジメントセミナー | 20 |
| 4 品質管理活動と不良削減の進め方セミナー | 21 |
| 5 効果的な社員の能力管理システムの構築と運用セミナー | 21 |
| 6 層別図解法マスターセミナー | 21 |
| 7 2日でマスターする問題解決アプローチセミナー | 21 |
| 8 事業構想セミナー | 21 |
| 9 実務に使える実験計画法セミナー | 21 |
| 10 技術開発でリードする実験計画法レベルアップセミナー | 22 |
| 11 未然防止・問題解決のプロセスマネジメントに役立つ「発見力」強化セミナー | 22 |
| 12 失敗学セミナー実践コース | 22 |
| 13 究極の作業標準化とものづくり改善セミナー | 22 |

| | | |
|----|---|----|
| 14 | 出る杭セミナー（本質が起こすイノベーション2.0セミナー） | 23 |
| 15 | JUSE－エグゼクティブセミナー | 23 |
| 16 | スピードある改善を実現する施策実行型セミナー | 23 |
| 17 | 「技術の使える化」セミナー | 23 |
| 18 | 再発防止対策の基本と進め方セミナー | 23 |
| 19 | 3日でマスターする応答曲面法セミナー | 24 |
| 20 | ビッグデータ時代のデータリテラシー1日コース | 24 |
| 21 | 実務に使えるプロダクトマーケティングセミナー | 24 |
| 22 | 2時間集中型オンライン講座 特性要因図編／再発防止活動編 | 24 |
| 23 | 調達品の品質確保セミナー | 24 |
| 24 | 使えるファシリテーションスキルセミナー | 25 |
| 25 | アサーティブ・コミュニケーションセミナー | 25 |
| 26 | 伝わる説明と表現スキル実践セミナー | 25 |
| 27 | 1日で学べるアンガーマネジメントセミナー | 25 |
| 28 | 本気で実践するリーダーシップセミナー | 25 |
| 29 | 業務の見える化セミナー | 26 |
| 30 | TQMセミナー 部課長コース | 26 |
| 31 | TQMセミナー 係長・主任コース | 26 |
| 32 | 多変量解析法セミナー グラフィカルモデリング／共分散構造分析 | 26 |
| 33 | QC検定1級 過去問題解説講座 | 27 |
| 34 | eラーニング： 『品質不正・不祥事』に学び、品質を重視した知識・意識・風土を作るには | 27 |
| 35 | eラーニング：「QCの基本と活用」（中国語版／タイ語版） | 27 |
| 36 | eラーニング：「QC検定2級レベル対応受検対策講座（実践編・手法編）」 | 27 |
| 37 | Excelで学ぶデータの活用と分析セミナー | 28 |
| 38 | 「アンケート調査の計画とデータの解析」セミナー | 28 |
| 39 | 統計解析のためのExcel活用テクニック | 28 |
| 40 | 新・商品企画七つ道具（Neo P7） | 28 |
| 41 | 中堅社員のための仕事品質向上セミナー | 28 |
| 42 | 技術者のための技術英語ライティング入門セミナー | 28 |
| 43 | 失敗学トレーニングコース | 29 |
| 44 | 顧客価値創造，組織能力獲得・向上セミナー | 29 |
| 45 | “自考型”に向けた論理的思考力養成セミナー | 29 |
| 46 | 測定システム解析（MSA）セミナー | 29 |
| 47 | 品質不正・不祥事を予防するためのマネージャーセミナー | 29 |
| 48 | 伝わるパワポ資料作成術セミナー | 29 |
| 49 | 技術者倫理研修 | 30 |
| 50 | 1日でわかる，なぜなぜ分析基本セミナー | 30 |
| 51 | 課長の仕事品質向上セミナー | 30 |
| 52 | 管理・間接部門における日常管理の進め方 | 30 |

| | | |
|----|--|----|
| 53 | リスクマネジメントのための失敗学（基礎編）[オンデマンド] | 30 |
| 54 | テキストマイニング入門セミナー | 30 |
| 55 | 事業創造セミナー | 31 |
| 56 | 改善の原則を体感する - IE（インダストリアル・エンジニアリング）の基礎 - | 31 |
| 57 | 設計・開発における再発防止実践セミナー | 31 |
| 58 | Excelで学ぶ回帰分析・因果推論・機械学習セミナー | 31 |
| 59 | 統計的品質管理（SQC）セミナー実務者育成コース | 31 |
| 60 | 心理的安全性を高め、仕事の質とスピードアップを 実現する『2つのカタ』セミナー | 31 |
| 61 | 実験の計画と分析を体感する - 実験計画法の基礎 | 32 |
| 62 | Excelで学ぶ官能評価の統計解析セミナー | 32 |
| 63 | 技術者のための製品・サービスの品質に基づくマーケティングと戦略論セミナー | 32 |
| 64 | ChatGPTとPythonを活用してデータから価値を引き出す実践データ分析基礎 | 32 |
| 65 | クオリティフォーラム | 32 |
| 66 | 品質管理シンポジウム | 33 |

2 信頼性・製品安全

| | | |
|----|------------------------------------|----|
| 1 | リスクアセスメント実践研究会 | 35 |
| 2 | 信頼性設計・試験基本コース | 35 |
| 3 | 部門長のための品質・信頼性マネジメントセミナー | 35 |
| 4 | 2時間集中型オンライン講座 QC工程表編 | 35 |
| 5 | 職場のトラブル・事故防止に役立つ未然防止型 QC ストーリーセミナー | 35 |
| 6 | 未然防止手法 DRBFM 実践講座 | 35 |
| 7 | 技術者・スタッフのための製造物責任法（PL法）解説セミナー | 36 |
| 8 | 信頼性技法実践講座：信頼性物理 | 36 |
| 9 | 信頼性技法実践講座：故障解析 | 36 |
| 10 | 信頼性・保全性・安全性シンポジウム | 36 |
| 11 | 日科技連認定 信頼性技術者資格認定制度 | 37 |

3 ソフトウェア品質

| | | |
|---|---|----|
| 1 | SQiP（Software Quality Profession） | 38 |
| 2 | ソフトウェア品質シンポジウム（SQiPシンポジウム） | 38 |
| 3 | ソフトウェア品質管理研究会（SQiP研究会） | 38 |
| 4 | 世界ソフトウェア品質会議 | 39 |
| 5 | ASQN（Asian Software Quality Network）カンファレンス | 39 |
| 6 | 品質重視のアジャイル開発セミナー 概要編・実務編 | 39 |
| 7 | AIソフトウェアの品質保証セミナー | 39 |
| 8 | ソフトウェア不具合改善手法 ODC分析の基礎セミナー | 40 |

| | | |
|----|--|----|
| 9 | 基礎から学ぶソフトウェアテストのマネジメント・技法 [オンデマンド] | 40 |
| 10 | ソフトウェアテスト分析手法 実践セミナー | 40 |
| 11 | 基礎から学ぶ品質の観点からのアジャイル開発入門 | 40 |
| 12 | 実践!仕様化(USDM)セミナー | 40 |
| 13 | 基礎から学ぶソフトウェアレビューのプロセスと 欠陥検出テクニック [オンデマンド] | 40 |

4 医薬統計・医薬関連

| | | |
|---|-----------------------------------|----|
| 1 | 臨床試験セミナー統計手法専門コース BioS 30周年記念講演会 | 41 |
| 2 | 医薬統計・医薬関連セミナー | 42 |
| 3 | メディカルアフェアズ部門向けセミナー 医学論文/観察研究/生物統計 | 42 |
| 4 | がん専門CRC養成セミナー | 42 |
| 5 | 健康データサイエンスのための統計学入門 | 42 |

5 QCサークル

| | | |
|----|--|----|
| 1 | QCサークル(小集団改善活動)全国実態調査 | 43 |
| 2 | QCサークル運営改革プロジェクト | 43 |
| 3 | QCサークル活動全国推進組織 | 43 |
| 4 | QCサークル本部登録制度 | 44 |
| 5 | QCサークル全国大会(小集団改善活動) | 44 |
| 6 | 第6000回記念QCサークル全国大会(小集団改善活動) | 45 |
| 7 | 全日本選抜QCサークル大会(小集団改善活動) | 45 |
| 8 | 事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門 QCサークルグランドチャンピオン大会(小集団改善活動) | 45 |
| 9 | QCサークル洋上大学/QCサークル海外研修団 | 46 |
| 10 | QCサークル推進石川馨賞の創設 | 46 |
| 11 | QCサークル石川馨賞(事務・販売・サービス部門)の創設 | 46 |
| 12 | 『QCサークル』誌活用・普及貢献賞 | 47 |
| 13 | スタッフ向け問題解決のためのファシリテーター養成講座 | 47 |
| 14 | 製造現場リーダーのためのなぜなぜ分析演習セミナー1日コース | 47 |
| 15 | リーダー・推進者のための心の好循環サイクルによる強いチームづくりセミナー | 47 |
| 16 | あらゆる職場で役立つヒューマンエラーの原因分析・対策法セミナー | 48 |
| 17 | QCの考え方にに基づくIE手法活用による工程改善実践セミナー | 48 |
| 18 | 職場のトラブル・事故防止に役立つ未然防止型QCストーリーセミナー | 48 |
| 19 | 事務・サービス業務におけるムダの徹底排除セミナー | 48 |
| 20 | 品質保証強化に向けた「工程管理」実践セミナー | 49 |
| 21 | QCサークル講師者コース | 49 |

6 ISO審査・登録

- 1 マネジメントシステム規格の上位構造（high level structure=HLS）…………… 50
- 2 情報セキュリティマネジメントシステム…………… 50
- 3 食品安全マネジメントシステム…………… 51
- 4 労働安全衛生マネジメントシステム…………… 51
- 5 登録組織に対するサービスの強化…………… 51
- 6 JACB代表幹事としての活動…………… 52
- 7 持続可能な調達に関するガイダンス（ISO 20400：2017）の認証業務を開始…………… 52
- 8 J-Club MSセルフアセスメント…………… 52
- 9 ISO規格への追補版「気候変動」…………… 52

7 ISO研修

- 1 品質マネジメントシステム…………… 53
- 2 環境マネジメントシステム…………… 53
- 3 情報セキュリティマネジメントシステム…………… 53
- 4 食品安全マネジメントシステム…………… 53
- 5 IATF 16949 コース…………… 53
- 6 その他、新規セミナー…………… 53
- 7 オンデマンド…………… 54

8 講師派遣・出張研修

- 1 講師派遣…………… 55
- 2 出張研修…………… 55
- 3 講演会…………… 55
- 4 実施までの流れ…………… 56

9 企業の品質経営度調査…………… 57

10 賞・表彰

- 1 デミング賞…………… 59
- 2 日本品質奨励賞…………… 60

11 品質月間…………… 62

12 国際協力

- 1 世界品質同盟（WAQ）と国際貿易センター（ITC）との共同事業でWG発足 64
- 2 ASQN（Asian Software Quality Network）カンファレンス（日本・東京） 64
- 3 ITC（国際貿易センター）を通じた途上国支援 64
- 4 国際TQMセミナー（オンライン形式）試験的に実施 64
- 5 日科技連の理事長が国際品質アカデミー（IAQ）の
プレジデント、チェアマンに就任 65
- 6 海外での招待講演 65

13 広報・出版活動

- 1 月刊誌『QCサークル』 66
- 2 日科技連賛助会員制度 67
- 3 機関誌「クオリティ・クラブ」創刊 68

第3部 10年のあゆみ

- 年表 70

第4部 資料編

- 1 デミング賞、日本品質奨励賞受賞一覧 78
- 2 主要事業参加者数の推移 79
- 3 一般財団法人 日本科学技術連盟定款 82
- 4 日科技連組織図 93

編集後記

凡例

1. 用字、用語は、原則として、常用漢字、現代仮名遣いを心掛けている。
2. 数字は、原則として算用数字を用いた。表現上の関係で一部和数字も用いている。
3. 本文中の年号は、原則として西暦を用いたが、一部資料などでは元号も併記した。
4. 個人の所属は、原則として、行事やセミナーが行われた当時のものを掲示した。